



▲夜須・野市併せて209人の方にご参加いただきました

防災ワークショップ 災害時の「自助」「共助」「公助」を考える

7月10日(土)夜須マリンホール、7月25日(日)のいちふれあいセンターにて、防災ワークショップが行われました。

当日は、高知大学の原忠先生をお招きし、災害の危険を知り、身を守るために必要な対策は何かを講演していただきました。

参加者は、今回の講演を聞くことで、災害時でも地域の防災活動に活かし、「自助」「共助」「公助」を改めて考えることのできる経験となりました。

どや・シーパークの海開き どんな人でも楽しめるユニバーサルビーチ

7月17日(土)、や・シーパークにて海開きと並んで四国初のユニバーサルビーチが開催されました。ユニバーサルビーチは障害のある人や小さな子どもでも海での遊びを楽しめるように、という思いから生まれました。

砂浜のうえを海辺まで続く青いアクセスマットを通れば、車いすやベビーカーでも安心。専用のマットと思わず、たくさんの方に気軽に使ってほしいという思いがあるそうです。また、導入された水陸両用の車いす「モビチェア」はベルト付きで座ったまま海に入ることができ、浮き輪に乗っているようにゆったりと海を楽しめそうです。



▲ユニバーサルビーチでモビチェアを体験する来場者



▲みんなで必勝祈願！

伝 烏喰いの儀 伝統ある神事を学んでオリンピックを応援！

7月19日(月)、東京2020オリンピック・サッカー日本代表を応援するイベントが香我美町徳王子の若一王子宮で開催され、スポーツ少年団香我美サッカー部員20人が参加しました。

神社は日本サッカー協会のシンボルでもある3本足のカラス「八咫鳥」が、熊野三山(和歌山県)から「神の使い」としてきた際に、餅でもてなす神事「烏喰いの儀」を約700年に渡り日本で唯一継承しており、部員たちは伝統行事を学ぶとともに、日本代表の健闘を祈願しました。



▲感染防止対策を行いながらの研修となりました

より良い地域づくりのために 第1回日赤奉仕団活動の研修会

8月4日(水)のいちふれあいセンターサンホールにて、「第1回日赤奉仕団活動の研修会」が行われました。今回の研修会は、日赤奉仕団野市分区と更生保護女性会野市支部、香南市健康推進員協議会の合同で開催されました。

当日は、日本赤十字社高知県支部から講師を招き、日本赤十字の成り立ちや現在の活動を今一度学びました。日本赤十字の原点を学ぶことにより、両団体が今後より一層連携し、幅広い活動に繋ぐことのできる研修となりました。



香南市の 「がんばる！」を応援 野市ジュニアバレーボールクラブ



第41回全日本バレーボール小学生大会 男子の部

高知県大会 優勝

6/19(土)、20(日)に第41回全日本バレーボール小学生大会・高知県大会が行われ、野市ジュニアバレーボールクラブが女子の部でベスト8・男子の部で6年ぶり8回目の優勝を勝ち取りました！現在は10月下旬の四国チャンピオンシップ大会に向けチーム一丸となって練習に励んでいます！



1年半ほど前は廃部に追い込まれていたチームですが、素直でがんばり屋の子どもたちが集まってくれました。日ごろの練習はキャプテンの声かけをもとに、子どもたちが主体的に練習を行っています。子どもたちの上手になりたい、勝ちたい、という気持ちでがんばるプロセスを大事にして、これからも各大会での好成績を目指し、進んでいきたいです。バレーボールを通じた人間づくりの先に優勝という感動があります。

竹村監督▶

チャンピオンシップ大会
がんばります！！

